

おおよそき 議会だより



(撮影：議会広報広聴常任委員 吉原信雄)

荒佐春祭り (浦安の舞)

3月定例会

● こんなこと決めました

平成30年度当初予算	2
当初予算・補正予算	3
条例	4
人事案件等	5

● 町政を問う(一般質問)	7
● 議会のうごき	11
● 町民の広場・編集後記	12

9,135万9千円

平成30年度 一般会計当初予算 80億5,015万7千円

一般会計当初予算額は、80億5,015万7千円で対前年比106%、約4億2,097万4千円の増加となっています。
特別会計の予算額は、3ページのとおりです。

《平成30年度の新規事業及び歳出の主なもの》

- ・ 公共施設空調及び照明設備工事（新規） 3億4,320万円
公共施設カーボン・マネジメント強化事業により、大丸小を除く町内の小・中学校を対象に上記設備を整備するもの
- ・ 農業振興地域整備計画策定業務委託料（新規） 698万5千円
前回の見直しから、概ね10年が経過したため、平成30年度において整備計画を現状に即した形に見直すもの
- ・ 株式会社おおすみ観光未来会議負担金（新規） 207万円4千円
大隅4市5町で広域観光を推進し観光による地方創生を実現するための組織である上記新法人に対する負担金
- ・ 病児保育事業負担金（新規） 51万3千円
志布志市の小児科が行っている病児保育事業に対して、負担する経費
- ・ 母子健康手帳アプリケーション使用料（新規） 13万円
妊婦健診の情報や育児に関する情報等を発信するための経費
- ・ ふるさと納税謝礼 5億円
ふるさと納税の返礼品等に係る経費
- ・ クロスカントリーコース整備工事 2,382万4千円
くにの松原キャンプ場周辺に、2キロのコースを整備するもの
- ・ 学校給食費補助金 2,035万円
学校給食費を一人当たり2,000円補助するもの

予算総額 122億

平成30年度 特別会計当初予算

国民健康保険事業特別会計予算	18億5,829万 1 千円
介護保険事業特別会計予算	17億8,145万円
後期高齢者医療特別会計予算	1 億6,387万 3 千円
水道事業会計予算	2 億2,768万 4 千円
公共下水道事業特別会計予算	2 億 990万 4 千円

3月補正予算の主なものは、下記のとおり!!

野方小学校校舎等大規模改造工事 4 億 1,300 万円

老朽化に伴う野方小学校の改修工事を平成 30 年度に計画していましたが、平成 29 年度の国の補正予算等について、県からの内示があったことから今回前倒して補正予算に計上するものです。

質：当該工事の工期及び内容の説明と、空調の整備については全教室が対象になるのか。

答：工期については、平成 30 年度に工事契約を締結し、来年の 2 月いっぱいを目途に予定している。内容については、校舎及びトイレの改修工事（電気設備、給排水設備工事含む）、仮設校舎の建設と取り壊しを行う。空調整備については、平成 30 年度に予算計上されるカーボン・マネジメント事業により実施する予定であり、教室の利用状況などを考慮した結果、小学校においては、特別教室（音楽室や理科室等）を除いて整備する計画である。

施設型給付費 3,459 万円

保育園等における運営費（施設型給付費という）の実績見込みに伴い補正するものです。

ふるさと納税謝礼

6 億 4,752 万 3 千円

ふるさと納税促進事業の実績見込みに伴い補正するものです。

決めました!

条例の主なもの

●大崎町地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律に基づく固定資産税の特別措置に関する条例の制定

国は地域の特性を生かして高い付加価値を創出し、地域の事業者に対する経済的波及効果を及ぼす地域経済牽引事業を推進するため、これまでの企業立地促進法を改め、予め県が策定した基本計画に基づき地域経済牽引事業を行うこととする事業者に対し、国税や地方税の課税特例などで設備投資を促進することとしていることから、本町においても、地域経済牽引事業に取組む企業に対する優遇措置を整備するため本条例の制定を行うものです。

●大崎町国民健康保険税条例の一部改正

平成30年度から国民健康保険における財政責任主体が県になることに伴い、地方税法の国民健康保険税に係る改正がなされたことにより本条例の一部を改正するものです。

質：今回の一部改正により、国保税の算定の方法は変わるのか。

答：県が財政責任主体になることから、今回の一部改正が行われますが、国保税の算定方法については、従来とまったく変わりません。

●大崎町介護保険条例の一部改正

介護保険事業の健全かつ適正な運営を図るための新しい大崎町介護保険事業計画が、平成30年度から平成32年度までの3年間実施されることに伴い、65歳以上の被保険者にかかる介護保険料率の改定や保険料率の適用期間等を改めるため、本条例の一部を改正するものです。

(保険料の標準額を抜粋)

現行：第5号 68,400円(月額5,700円)



改正後：第5号 78,000円(月額6,500円)

反対討論：本条例の一部改正によって、介護保険料が値上げされることになる。今行政に求められることは、

保険料を据え置いたための対策や、本町独自の減免対策等ではないかと考えるため本条例の一部改正には反対である。

賛成討論：今回保険料の増額を行わずに、3年後に保険料

の見直しを行った場合、本町における介護保険事業に関する状況を勘案すると、急激な増額を行わなければならぬ可能性があり、かなりの負担増が予想される。このことから、今回の保険料の増額を認めおくことで、仮に3年後の見直しで保険料が増額になった場合でも、緩やかな増額になり、保険者への負担が軽減されるのではないかと考えられることから本条例の一部改正には賛成である。

2018年
3月
定例会
3月6日～
3月23日

こんなこと

固定資産評価審査委員会委員に同意

固定資産評価審査委員会委員が任期満了となったことから、再任に同意しました。



住所 野方6220番地5
氏名 松山 正文 氏(72歳)



住所 菱田2652番地5
氏名 濱口 博 氏(69歳)

教育委員会委員に同意

教育委員会委員の任期が満了となったことから、再任に同意しました。



住所 仮宿664番地1
氏名 二見 いすず 氏(61歳)

副町長に同意

副町長として、同意しました。



住所 横瀬1604番地9
氏名 千歳 史郎 氏(62歳)

地域活性化施設野方あらすのの指定管理者の指定

管理者 株式会社 ローソン南九州
指定の期間 平成30年4月1日～平成35年3月31日まで

大崎町老人福祉センターの指定管理者の指定

管理者 社会福祉法人 大崎町社会福祉協議会
指定の期間 平成30年4月1日～平成33年3月31日まで

大崎町シルバーワークプラザの指定管理者の指定

管理者 公益社団法人 大崎町シルバー人材センター
指定の期間 平成30年4月1日～平成33年3月31日まで

常任委員会報告

3月定例会で付託された議案の審議内容（抜粋）

総務厚生常任委員会

●平成29年度大崎町一般会計補正予算（第5号）

◇農地利用最適化推進委員報酬（122万3千円減額）

質…推進委員報酬の減額の理由は何か。

答…農地利用最適化推進委員については、平成29年9月に13名委嘱を行ったが、欠員7名の報酬分が主なものである。

◇観光施設あり方検討会出会謝礼（8千円減額）

質…あり方検討会ではどのような内容が検討されたか。

答…昨年4回検討会を実施した。主な内容としては、本町が所有する観光施設（あすばる大崎、キャンプ場、プール等）は老朽化していることから、施設の整備方針や運営方針について、中長期的視点に立つての提言をいただいた。

●平成30年度大崎町国民健康保険事業特別会計予算

質…平成30年度から財政責任主体が県に移行されるが、特定健診審査等事業について、各市町村への特定健診の受診率にペナルティはあるか。また、特定健診の受診率を引き上げるための目標を定めているか。

答…平成30年度から財政運営の主体は県に移行され、保険事業については市町村の運営となる。特定健診受診率に応じてのペナルティはないが、国の保険者努力支援制度により、効

果が上がったところには、点数をつけて交付金等上げる制度となっている。

目標としては、長期的な視野において、70%を目標に今後も努力していきたい。

文教経済常任委員会

●平成30年度大崎町水道事業会計予算

質…水道水の塩素濃度について、給水過程のどの部分で、どのような方法で測定されているか。

答…濃度は、各配水系統で測定し、水道課のモニターで状況把握している。また、月1回の水質検査や各配水系統の末端で、住民の方に毎日時間を決めて、塩素濃度、水の色、異物混入の有無等を検査していただいている。上水道の水質については、今後とも細心の注意を払っていく。

●平成30年度大崎町公共下水道事業特別会計予算

質…平成30年度に予想される新規の接続戸数と枝線工事の計画はどうなっているか。

答…丸尾地区が8戸、堂地地区が6戸の予定である。また、枝線工事については、それぞれの地区の造成地まで延伸する予定である。

一般質問

3議員が登壇

町政を問う

稲留光晴 議員 P 8

- ・国民健康保険税率はどうか
- ・介護保険料値上げの意図を問う
- ・中学生就学援助時期を問う

児玉孝徳 議員 P 9

- ・ごみ問題を問う

中山美幸 議員 P 10

- ・施政方針及び予算説明を問う

議会を傍聴してみませんか!!

手続きは簡単です。

本会議の当日、傍聴者カードに住所・氏名を記入していただくだけです。議会を傍聴することは、町政を知るよい機会です。

定例会は年4回（3月、6月、9月、12月）行なわれます。

また、一般質問のある日程のときは、事前に防災無線でもお知らせしています。どうぞお気軽にお越しください。

次回の定例会は6月です。

国保税30年度税率はどのようなか

保険税率は据え置く



稲留 光晴 議員

30年度から国保税は町が徴収して県へ国保事業納付金として納めることになるが保険税率はどうか。

保険税率は据え置く

保健福祉課長

これまでの保険税率で充足できると判断し、据え置くものとした。

4方式でいくのか

稲留議員

県は3方式で自治体に保険料率を参考に示しているが、29年度の国保税税率と同様4方式でやると理解しているのか。

30年度国保税率（4方式）

税率	医療分	支援金分	介護分	計
所得割率(%)	7.3	2.7	1.9	11.9
資産割率(%)	29.4	13.8	11.1	54.3
均等割額(円)	20,700	7,800	7,600	36,100
平等割額(円)	19,300	7,000	5,000	31,300

その通りである。

保健福祉課長

県の国保運営方針は35年度までに、県内3方式に統一することを目標とするとなつている。今後いろいろと検討していく。

介護保険料の値上げには反対である

稲留議員

今期30年度から32年度（第7期）は値上げになつている。値上げには反対である。なぜ値上げするのか。

介護給付見込料が膨む

町長

高齢者の増加と、介護報酬改定に伴い報酬額が0.54%引き上げられた。また1号被保険者負担割合が22%から23%に引き上げられたため、介護給付費見込料をもとに保険料を設定した。

住民負担軽減に取り組んだのか

稲留議員

負担軽減に取り組み

という考えを持つべきであると考え。値上げをせずにすむ検討をされたのか。

保険料について、相当検討をした

町長

本町において毎年3%ずつは介護給付費が増えている。今後の介護保険事業、介護を受ける方のサービスもできなくなる。双方のメリット・デメリットを勘案しながら保険料について、相当検討した。

保険料を据え置く自治体もあるがどうか

稲留議員

高齢者の健康づくり、栄養指導、口腔ケアなど、介護予防に力を入れて保険料を据え置く基金とかに力をいれている自治体もあるがどうか。

介護予防事業を充実させる

保健福祉課長

介護予防事業の充実が保険料の上がる抑制になると考えるので、介護認定を受ける方々を減らすことも目標であるから、今後も力を入れていく。

中学生就学援助金3月支給はできないか

稲留議員

7月給付から5月末給付に前倒しが実現したが、必要な備品購入時期にお金があるか無いかで辛い思いがある。3月中に支給できないか。

中学生入学前支給を実施する

教育長

中学生の入学用品については今回から入学前支給を実施する。

大崎中学生の制服購入額はいくらか

稲留議員

都会では保護者に制服購入の負担が重い状況がある。大崎中では

いくらか。

表の通りであり、一部助成している

教育長

29年度から中学入学生徒の保護者に制服購入費一部助成し生徒一人に対し3万円支給している。

制服購入額（教育長答弁より）

	男子生徒	女子生徒
購入(各1枚)	冬用上着	イートンジャケット
	冬用スラックス	長袖セラーブラウス
	長袖カッターシャツ	冬用スカート・リボン
	半袖開襟シャツ	半袖セラーブラウス
	夏用スラックス	夏用スカート
計(円)	38,988	48,978

ごみ分別での町民負担の少ない町に

衛生自治会と協議する



児玉 孝徳 議員

リサイクルの効果はどのくらいあるか

児玉議員

リサイクルで、経費やCO₂など環境についての効果はどのくらいか。

ごみ処理経費は全国平均の約半分である

町長

リサイクルによるCO₂の削減効果については、増加理論もあるが、資源循環の取組は地球に優しいと考える。



住民による資源ごみの分別

資源ごみ回収日と別に持込回収所の設置を

児玉議員

ごみの出し忘れや、年末などは置き場もない家庭もあるが、資源ごみ回収日とは別に、月2回ほど特定の場所に持ち込む事で回収できないか。

衛生自治会と協議する

町長

広報紙に収集日を掲載している。ごみ分別アプリの通知機能の活用や、集落放送の利用で、出し忘れの対策につながると思う。回収の機会を増やすことについては、衛生自治会の意見を聞き、協議する。

移住者に分別のわからない物を入れる袋を

児玉議員

「大崎町はごみの分別が大変だから住みたくない」と、移住をためらう方がいるが、移住、定住促進のために、



ごみ拾いをする小学生

一定期間、「分別のわからない物を入れる袋」を無料配布することはできないか。

十分説明しているが、衛生自治会と協議する

町長

移住者には、時間をかけ詳細に説明している。「分別のわからない物を入れる袋」は、今までの取組に逆行するので、衛生自治会と協議し、慎重に判断する。

分別のわからない物を入れる袋の販売を

児玉議員

菱田の小学生はごみを拾うことで、表彰さ

衛生自治会と協議し慎重に判断する

町長

同様に衛生自治会と協議し、慎重に判断する。

啓発や注意喚起、指導を行っている

町長

広報紙による啓発、防災無線放送による注意喚起の他、通報があれば至急現地へ出向き指導を行っている。野焼きによる延焼で消防の出勤も多いので、地域での見守り活動などが必要と考える。

環境問題、また火災の心配から、ごみ焼却について、何か対策が取れないか。

おしめの回収を増やせないか

回収回数を増やすよう改善する



中山 美幸 議員

町長は、人、物に視点を置いて平成30年度予算を編成したと、施政方針の中で述べている。その中で環境というメリットを活かしていくとも述べているが、平成29年度当初、そのリサイクルセンターが海外で操業開始し雇用も創出できると示しているが現状はどうか。

インドネシア政府の一時預かりとなっている

建設課長

インドネシアのデポック市で企業化する事で採択は受けているが、環境林業省で一時預かりとなっている。

子育て世代のおしめ回収を増やせ

中山議員

町長は平成28年12月の同僚議員への答弁で廃棄物諸費用が県平均より年間約1億円の財源が浮いていると、述べている。これは住民の労力奉仕であり、ゴミ分別に対する負の部分については触れていない。30年度方針では子育て分野に力を注ぐとしているが、幼児や家族介護の高齢者のおしめ回収を増加すべきである。

改善する

町長

おしめは一般ゴミとして一週間に1回の回収であるが、リサイクルできるまでは、一週間に2回にするなど担当課と協議して改善する。

小中学校のエアコン設置はいつか

中山議員

数年前の提案により、小中学校の図書室のエアコンを設置してもらった。町長は大規模改修と同時にエアコン設置をするとしている事から、公の学校の子どもたちは平等であるべきと考えているが、*カーボン対策によるエアコン設置はいつか。



エアコンが設置された図書室で学ぶ児童

平成31年4月に稼働する予定である

建設課長

事業の工期を含めスケジュール管理について、9月着工1月末完成を目指し4月1日をもって全校すべて稼働できる。

有害鳥獣対策委託料の使途を示せ

中山議員

農業水産業費の有害鳥獣関係予算675万円のうち349万5000円の使途について示せ。



箱わなで捕獲されたイノシシ

民間の有害鳥獣対策指導者を養成設置する

農林振興課長

これまで野方猟友会にサルに対する巡回を委託していたが、その効

果もありサルの被害は減少傾向であるが、イノシシの被害が増加している事から、有害鳥獣対策指導者を養成する。

有害鳥獣対策でエリア限定は改めるべき

中山議員

30年2月末の実績を見ると、イノシシの被害の増加がよくわかる。特に持留、黒石の住民の方々からは、野方猟友会と大崎猟友会のエリア限定境界上であり対応が薄い。また持留以南でのサルの出没があったが巡回も無い。この対策は住民のための対策であり、経費は一般会計からの支出であり不合理である。早急に改善されたい

両猟友会が話し合わなければならぬ

町長

猟友会は元々一本化でスタートしていた。エリア境界の対応についてジレンマは理解できる。何らかの解決策を講ずるべきとは感じている。両方

の猟友会が話し合わなければ前に進められない。エリア限定で捕獲指示を出している

農林振興課長

捕獲指示は両方の猟友会に限定の指示を出している。両方の猟友会が日頃からコミュニケーションを取りあっている状況では無く実態は難しい。

集落単位で捕獲チームを作れ

中山議員

集落もしくは隣接集落で対策チームを構築し町全域で協議会の構築を望む。

両猟友会とは別に取り組みを強化する

町長

自分たちの地域は自分たちで守る意識付けと共に、取り組みを強化する。

※カーボン・マネージメント強化事業とは

CO₂の排出削減に係る企画・実行・評価・改善のための体制整備に向けた調査検討、省エネルギー設備等の導入を支援する事業

議会のうごき

町村議会議員研修会

去る1月30日、県町村議会議長会主催による町村議会議員研修会が、鹿児島市のウエルビューかごしまで開催された。

研修では、「大相撲の魅力」放送席から見た半世紀」と題して元NHKアナウンサーで日本福祉大学客員教授 杉山 邦博氏による講演と、「チベットと日本、異文化を超えて」と題してチベット声楽家 バイマーヤンジン氏による講演が行われた。



ウエルビューかごしまにて

県内事務調査

1月31日、曾於市にある『たからべ森の学校』において研修を行った。今回は、設立の経緯や施設

の概要、職業訓練の運営状況等について、担当者から説明を受けた後、施設の視察を行い、最後に意見交換を行った。



たからべ森の学校にて

この学校は、旧財部北中学校の施設を活用して運営が行われていることから、本町における閉校施設の有効的な活用方法を考える上での参考になると感じた。また、農業に関する職業訓練事業等を実施し、全国から訓練生を募集していることから、訓練終了後に曾於市に移住した方もおり、本町でも課題となっている定住促進や交流人口の増加といった取り組みに関して、今回の研修で学んだ事を生かしながら、様々な提言をしていく。

町村議会議長会定期総会

2月20日、第69回鹿児島県町村議会議長会定期総会が、ウエルビューかごしまで開催された。総会は、会長あいさつに始まり、三反園県知事等の来賓祝辞の後、鹿児島県と全国それぞれの町村議会議長会による自治功労者表彰が行われた。今回は、県町村議会議長会の15年以上在職として、次の方が表彰された。

- 中倉 毅 議員
- 上原 正一 議員
- 中山 美幸 議員
- 吉原 信雄 議員

議事に入り、平成28年度決算の承認、平成30年度事業計画（案）及び予算等の提案説明があり、審議の結果、いずれも原案のとおり可決された。

最後に、住民の代表機関として町村の最終意思決定を預かる議会の役割と責任を自覚するとともに、総力を結集して、地方創生の更なる推進等9項目の実現を期するための議決案が提案され、全会一致で採択された。

本町への議会研修

●福岡県八女市議会（1月26日）
ごみゼロのまちづくりに関する研修のため、議員9名、議会事務局職員他3名来町された。

●喜界町議会（1月29日）
ごみ分別・リサイクルに関すること及びふるさと納税・返礼品のネット通販に関する研修のため、議員12名、議会事務局他4名来町された。

●広島県廿日市市議会（2月8～9日）
リサイクル率日本一の取り組み及びふるさと納税推進の取り組みに関する研修のため、議員6名来町された。

●熊本県湯前町議会（2月9日）
ごみ0のまちづくりに関する研修のため、議員10名、町長他4名来町された。

●香川県土庄町議会（2月16日）
ごみのリサイクルの取り組みなどに関する研修のため、議員6名、町長他4名来町された。

私の想い

「地域とともに育む
なかおきっこ」



中沖小学校PTA
会長
下村 昭一

私は、平成24年4月よりPTA役員をさせていただいております。この間、校長先生を始め先生方や保護者の方々、そして地域の皆様のご協力のもとPTA活動を行える事に感謝しております。

中沖小学校の主なPTA活動は中沖夏祭り、分館合同運動会、クリスマス会、門松づくりなどがあります。夏休み中に開催する中沖夏祭りは子ども達を中心となり、祭りの進行から出店の運営まで行います。特に各学年ごとに舞台上

で披露する合唱などは素晴らしいものがあります。自分達でやり遂げたという達成感が得られ夏休みの良い思い出作りとなっています。分館との合同運動会は昨年、あいにくの雨での決行となりましたが、小学校の種目を優先して行いました。雨の中での競技ではありませんでしたが、1年生から6年生までこれまでの練習の成果を十二分に発揮し、思い出に残る運動会になったと思います。12月には、門

松づくり、クリスマス会を行いました。門松づくりは、材料の準備をはじめ竹の切り出し等を保護者が一致団結して行い、立派な門松を正門に設置する事ができました。またクリスマス会では、親子

どもが協力してクリスマスケーキを作り、楽しい時間を過ごせました。この他にも中沖では古くから踊り継がれている棒踊りがあります。しばらく途絶えていましたが1995年にPTA活動において復活させた経緯があり、現在運

動会で4年生から中学生までの子ども達が当時のいでたちで披露しています。地域の方々から大変喜ばれ、棒踊りの継承活動を通して地域活性化にもつながっていると

思います。こうした伝統芸能を継承していけるのも先生方や地域の皆様方の協力によるものだと思います。感謝しております。今後



分館合同運動会で棒踊りを披露

編集後記

草木の緑も一段と濃く、初夏の陽気にツツジが咲き誇り、水ぬるむ時節となりました。こいのぼりが泳いでいる光景もちらほら見かけるようになりましたが、季節の変わり目は体調を崩しがちです。皆様におかれましては健康に十分留意されご自愛ください。ここに三月議会報をお届けいたします。

議会報に対してご意見等がありましたらお聞かせいただければ幸いです。(宮本昭二)



編集作業の様子

- 議会広報広聴常任委員会
- 委員長 吉原信雄 副委員長 児玉孝徳
 - 委員 中山美幸 委員 宮本昭一
 - 委員 神崎文男 委員 稲留光晴

発行責任者 大崎町議会議長 小野 光夫